

『医療機関における未収金問題への具体策』

開催にあたって

病院経営は未収金の増大で厳しさを増すばかりです。またその回収には多大な時間と労力を要しますが回収は思ったほど進んでいないのが現状です。

今回のマネジメントスクールでは、未収金の回収率を高めるために実務と法律のそれぞれの側面から未収金回収の実務対応について解説いたします。未集金予防の院内体制づくりや未収金回収のポイント、外部専門家による未収金対策、また未収金管理のシステム化など積極的に未収金対策に取り組んでいる具体例などを取り上げます。

日程	2012年11月15日(木)13:30～16:30 11月16日(金)10:00～16:15
場所	津田ホール（東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24 TEL 03-3402-1851）
対象	医療機関の理事長、院長、事務長、情報部門、管理部門、看護部門、医療情報関連企業の方々ほか
参加料(1名)	★医療従事者（病院職員）または日本経営協会会員：31,500円（消費税込）
16日金の 昼食代を含みます	★上記以外の方：40,950円（消費税込）

お申込み
お問い合わせ先

一般社団法人日本経営協会 産業公共本部 〒151-8538 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8

TEL (03) 3403-8615 FAX (03) 5413-4327 <http://www.noma.or.jp/hs/iryoken/>

申し込み方法

①Webによるお申込みの場合は、下記から「医療福祉研究会」のご案内をクリックしてお申込みください。

<http://www.noma.or.jp/hs/iryoken/>

②FAXによるお申込みの場合は、下段の参加申込書に必要事項を記入の上、送信ください。

- ◆お申込み後、参加券と請求書をお送りいたします。不着の場合は必ず電話にてご確認下さい。
- ◆お申込み後のキャンセルはできません。また、お納めいただいた参加料は原則として返却しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願いします。
- ◆参加料は銀行振込にて10月9日(火)までにお支払いください。
(振込手数料は貴団体でご負担願います)

会場案内図



キリトリ線

お申込みはWeb <http://www.noma.or.jp/hs/iryoken/> または、FAXでどうぞ！

FAX (03) 5413-4327

『医療機関における未収金問題への具体策』参加申込書

13837

団体名(病院名)		☐ 日本経営協会 会員 ☐ 医療従事者(病院職員) ☐ 一般(上記以外)	
所在地 〒□□□-□□□□		TEL	
連絡担当者氏名	連絡担当者所属	E-mail	FAX
参加者名	所属・役職	E-mail	

セミナー申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。以下に該当する場合は、☐にチェックして下さい。

①参加券や請求書の発送等の事務処理 ②今回、ご案内しております「病院マネジメントスクール」等、『医療福祉研究会』のご案内：②がご不要な場合には☐にチェックして下さい ☐不要

プログラム

11月15日(木)13:30~16:30 (質疑応答を含む)

医療機関における未収金回収の法律実務

〈13:30~16:30〉

みらい総合法律事務所 パートナー弁護士 水村 元晴氏

1. 診療契約に基づく報酬請求権
2. 未収金発生の事前防止策
3. 未収金回収の各種方法
4. 未収金回収業務の外部委託
5. 質疑応答 ほか

■ 水村 元晴 (みずむら もとはる) 氏

みらい総合法律事務所 パートナー弁護士

東京弁護士会所属。平成23年度東京弁護士会常議員・日本弁護士連合会代議員

【弁護士活動】病院などの医療費未収金回収業務のほか、企業法務、不動産案件、労働案件(企業側)、相続・離婚など一般民事事件を幅広く手がけている。また、各種セミナー講演、執筆活動のほか、現在、中央大学法科大学院の実務講師も兼務。

11月16日(金)10:00~16:15 (休憩時間12:00~13:00、質疑応答を含む)

*16日(金)は昼食をご用意しております。

病院未収金 予防体制構築の勘所

〈10:00~11:20〉

河合医療福祉法務事務所 行政書士・社会福祉士 河合 吾郎氏

1. 医療機関未収金の現状
2. 未収金発生の事例と分析
3. 患者導線に沿った未収金予防体制構築について
(・時間外受診時・退院時、外来時の対策
・院内全体の体制整備 ・未収管理、督促運用 他)

■ 河合 吾郎 (かわい ごろう) 氏

2001年社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷浜松病院に入職、在職中に医事課・医療情報センター・経理課などを経験する。2011年8月に総合病院での勤務経験を活かし医療福祉を専門とする事務所を開業し、様々な角度から医療機関の運営支援を行うことで地域医療の発展に貢献することを目指している。

医療機関における債権管理・回収

〈11:30~12:00
13:00~13:45〉

星野リーガルファーム 司法書士 星野 文仁氏

1. 債権管理に関する基礎認識
2. 自助努力による未収医療費対策
3. 外部専門家による未収医療費対策と専門家の選び方
①債権回収代行 ②欧米型債権回収代行 ③報酬基準
4. 当事務所における債権管理の現状と実績

■ 星野 文仁 (ほしの ふみひと) 氏

1998年に司法書士事務所を開業。組織再編、株式公開、事業承継案件を手掛けるほか、債権回収に関する実績も豊富。そのノウハウを活かし、医療機関の債権管理・回収も手がけている。今後は未収金回収という視点より病院運営に貢献していくことを目指している。

三井記念病院の未収金管理ノウハウをシステム化

〈14:00~16:15〉

～システムの指示通りに仕事をすれば確実に未収金は減少する～

社会福祉法人三井記念病院 医事課シニアマネージャー 千葉 真一氏

1. 本当に未収金管理をやっていますか
2. 市販のシステムもいいけれど……じゃあ作ってしまう
3. システムに人が動かされる？ でも指示に従えば……あら簡単！
4. 医事課員の少しの頑張りでも回収率は確実にアップ
5. しかしなにより医事課員の意識改革が重要

■ 社会福祉法人 三井記念病院

三井記念病院(病床数482床)では、2006年に未収金管理専任者を置き、試行錯誤を繰り返しながら、早期回収に力を入れて来た。当初は入院からテコ入れを始めたが、昨年より外来の強化も開始した。しかし専任者の業務は拡大し、3名の人員が必要となってしまった。そこでシステム化を検討。当院だけでなく多くの医療機関で使えるシステムであるが、最大限有効に使うには、医事課員の意識改革が最も必要である。